



新年恒例!! 稽古始めと餅つきで… (北檜山区)

北檜山剣道連盟による“稽古始め” 1/19

北檜山剣道連盟(伊関寿之会長)恒例の稽古始めが1月19日(土)、せたな警察署の柔剣道場で行われました。中宿先生(四段)の指導のもと参加した小中学生20名は、気合の入った掛け声を上げ、激しく竹刀をぶつけ合いました。稽古の後は、竹刀を杵に替えて餅つきを行い、今年1年の活躍に向け気持ちを新たにしました。

2チームが全道大会へ

檜山子どもかるた大会で活躍 1/20

1月20日(日)、檜山地域子ども会育成連絡協議会主催「檜山子連子どもかるた大会」が、厚沢部町総合体育館で開かれ、せたな町代表チームが上位入賞を果たしました。大会結果は次のとおりで、小学生・中学生の部に入賞した2チームは、2月24日行われる全道大会へ出場します。

部 門	成 績	チ ャ ム / 選 手
ジュニアの部	優 勝	せたなA (北檜山) / 工藤遥、川口拓磨、三浦琢斗
小学生の部	第3位	せたなC (丹羽) / 竹内さくら、佐鯉梨菜、元島望、長沼琴美
中学生の部	準優勝	せたなB (若松) / 伊藤匠平、日置いくみ、坂井祐也、平田亜紀



いつまでもお元気で長生きしてください (大成区)

大成保育園児が慰問しました! 1/24

1月24日(木)、特別養護老人ホーム「大成長生園」では1月生まれの方の「お誕生会」を予定していましたが、そこへかわいい慰問者大成保育園児が到着し、誕生日プレゼントは園児たちの手から渡されました。その後、昨年12月に同保育園のクリスマス会で行われた合唱や、お遊戯を披露されたおじいちゃんおばあちゃんは大喜びでした。最後は「おじいちゃんおばあちゃん元気で長生きしてください」という園児たちからの言葉に涙ぐむ場面も…。本当にこれからもお元気で長生きしてくださいね!

地元の美味しさ、味わってみませんか? (北檜山区)

女性ふれあい消費者交流会 1/26

1月26日(土)、女性ふれあいセンターにおいて北檜山区女性ふれあいグループ連絡協議会(照井昭子代表)による「女性ふれあい消費者交流会」が開かれました。

当日は、消費者20数人を含む74人が参加し、「ゆり根あん入りカボチャ餅」、「血液サラサラたまねぎとそばサラダ」、「牛乳豆腐のチーズケーキ」、「トマトアイスクリーム」など素材をいかしたヘルシーなアイディア料理12品を試食しながら野菜のうまみを引き出す調理のコツなど楽しい会話が弾みました。





雪球にかける熱いドラマの始まりを告げる（北檜山区）

2008せたなCUP雪合戦大会 1/27

1月27日（日）、2008せたなCUP雪合戦大会（実行委員会主催）が温泉ホテルきたひやま前特設会場で開催されました。第20回昭和新山国際雪合戦の渡島檜山予選会も兼ねた公式な大会で、地元のほか、函館、森、八雲、今金から8チームが出場。

選手たちは壁に身を隠しながら、熱い戦いを繰り広げました。上位3チームが2月23～24日開催の胆振管内壮瞥町で開かれる本大会に出場することになります。

町内外から13チームが参加（北檜山区）

ひそっぷ&道南NOSAIバレーボール大会 2 / 3

2月3日（日）、町民体育館において「ひそっぷ&道南NOSAIバレーボール大会」が開催されました。これは町内北檜山区丹羽で営業しているアイスショップひそっぷが主催する大会で今年で3回目。当日は地元の他、函館、今金から一般11チーム、女子2チームの合計13チームが参加、およそ100人もの選手及び関係者で賑わいました。



	優勝	準優勝	第3位
一般の部	元気ですかあ〜！？ （今金・せたな）	八束クラブ （今金）	LINKS（函館） ジェシカ（今金・せたな）
女子の部	今金中学校 （今金）	Let's begin （今金・せたな）	—



漁師仲間の素晴らしい連携により（瀬棚区）

仲間の漁船乗組員を救助して！ 2/12

2月12日（火）、瀬棚海上保安署において、第三十六福龍丸（船長 古畑 和弘）の船長ほか乗組員一同に対して、瀬棚海上保安署長より感謝状が贈呈されました。2月3日、漁場へ向って航海中だった福龍丸は、仲間の漁船が瀬棚港の沖合で火災延焼との連絡を受け、針路を変更し現場に急行、炎と熱気が包まれている同船から乗組員2名を無事救助し、その顕著な功績を称え感謝状が渡されました。古畑船長は「いつもなら1時間早くに出港している。自分達の船が1番近い場所にいたため、救助することができた。他の船が救助に向っても間に合わなかったと思う。とにかくタイミングがよかった。」と生々しく語ってくれました。

今年の豊漁と海上安全を願って（北檜山区）

初午大漁祈願祭が行われました 2/12

2月12日（月）、北檜山区新成地区で、1年間の豊漁と海上安全を祈願して「初午大漁祈願祭」が行われました。

この「初午（はつうま）」という行事は、天保年間の1810年頃から始まったもので、「白粉」を顔に塗るのが伝統となっています。

今年も昔からの伝統を守り、せたな町長や瀬棚海上保安署長を来賓に迎え、新成母と子の家を会場に、集まった人たち約50人全員が顔に「白粉」を塗り、歌と笑いで1年間の豊漁と海上安全を願いました。

